

新しい仲間を迎えて

校長

5月8日から、コロナウイルス感染症がインフルエンザと同じ5類に移行しました。しかし、世の中からコロナが無くなったわけではないので、これからも子供たちには手洗い、換気等に注意しながら、安心して生活できるようにしていきたいと思えます。また、学校の中では、コロナを機会にして、子供たちに本当に必要なことは何だろうという目で物事を考えることができるようになってきました。5類への移行により、コロナ禍以前に全てを戻すのではなく、大切なことは何かを考えて学校を進めて行こうと思えます。保護者の皆さまの御理解、御協力をお願いいたします。

令和5年度は、1年生45名を迎えることができました。コロナ禍では、1年生を迎える行事は、各学年と1年生で行ってききましたが、今年は体育館で1年生と6年生が対面で行うこととしました。1年生は、6年生から王冠のプレゼントをもらい、とってもうれしそうでした。また、6年生からの「なかよくしようね」のくす玉にも大喜びでした。また、6年以外の学年は、学年ごとに工夫して1年生とふれあいを行っています。2年生は、自分たちで1年生にしてあげたいことを考え、校内のクイズラリーのようなものを行ってくれました。昨年入学した2年生も、1年生を迎え、一つお兄さん、お姉さんになっていました。このような関わりが、子供たちを育てていくと思えます。



令和5年度 重点目標 みんなとかがえ やってみよう!!

ある日、図書館で本の貸し出しや返却の手伝いをしました。このときに、どの子供たちも本を返したり、借りたりするときに、「本を返します。——ありがとうございます。」「この本を借ります。——ありがとうございました。」と言っていました。昨年までの重点目標「とどけるあいさつ やさしいことば」が具現化されていたことにうれしさを感じるとともに、小さな挨拶のやり取りも、とっても心が温かくなると感じました。これからも、ずっと大切に育てていきたいと思えます。

またある日、3年生の校外学習に連れて行ってもらいました。ねらいは吉永地区の土地利用(特徴)を知ろうというものでした。3年の担任は、「この方向には何が見える?」「北側と南側では見えるものにどんな違いがある。」と投げ掛け、「何でそんな違いがあるのか考えてみよう。」と問い掛けていました。いろいろな学習にとって、まず自分で考えることが大切です。今年、本校で大切にしている重点目標に向かって指導されていることを感じました。これからの学習の行方も楽しみにになりました。

※(お詫び) 4・5月号の学校だよりで、学校教育目標に記載間違いがありました。申し訳ありませんでした。